

設立10周年を迎えたNPO「難民支援協会」の2代目事務局長

いしかわ

石川 えりさん 33

顔

高3の夏休みに参加したNGOの報告会でルワンダ難民の実態を知り、ボランティア活動の道志した。1999

もなく突っ走ってきた」と振り返る。母国での迫害から逃れてきた人々が日本政府に難民申請するのを、弁護士らと手助けする。申請者はこの10年間で6倍超の

わり、「息をつく間

年1599人に増えた。



撮影・吉岡毅

2001年、タリバンから逃れてきたアフガニスタンの男性の申請を初めて手がけた。「暴行を受けて一晩中、尋問された。今も冷たい風が吹くと怖い。眠れない」と訴えられ、自分も眠れなくなった。結局、認定はされず、「どうして日本は難民を守ってあげる視点に立っていないか。悲しさを覚えた」。

申請者急増で、住居の確保や就労支援など活動の幅は広がった。国には難民基本法制定を呼びかける。同じ活動をする弁護士との夫と昨年末に結婚し、10月に産休に入る。「NGOの女性スタッフは民間企業に比べ、まだ多様な働き方ができない。出産後も働ける環境を作り、後に続く人を勇気づけたい」

(地方部 萩原栄太)